

<p>優秀賞</p>	<p>平成の国宝姫路城大天守保存修理</p>
<p>技術開発者</p>	<p>鹿島建設(株) 野崎 信雄</p>
	
<p>受賞にあたって</p>	
<p>国土技術開発賞の優秀賞を賜りましてありがとうございます。国宝で世界遺産である文化財の保存修理工事は、極めて制約条件の多いもで行わなくてはなりません。特に、建造物や地盤下等の変更・変形・破損等は一切許されず、その上「文化財保護法」とユネスコの「ヴェニス憲章」の理念（形状・材料・工法・位置の不変）を遵守する必要があります。そこで、過去に少しでも採用されたことのある材料・工法についての文献や記事も確認しました。今回の大天守保存修理は50年に一度行うと姫路市で制定されているが故、より永続的な建造物とするため、「創意」と「工夫」を主眼に綿密な調査・計画の上、施工しました。その結果、この優秀賞を受賞できたことは誠にありがたく、関係各位に心から感謝申し上げます。</p>	
<p>受賞後の動き</p>	
<p>今回の工事は、一般の方々に見せながらの工事であり、施工中から注目度が増し報道が徐々に増えていきました。素屋根の解体が始まりお城が見え出すと「白すぎ城」と言われ、再オープン後の観光客は過去最多となりました。また、地元だけでなく全国各地にも赴き、本技術の内容や今回の修理で発見したこと、文化財の意義などを一般の方々、技術者、お城マニアの方々に広く周知してきました。また、工事開始当初からホームページを開設して情報を公開し続けています。</p>	